

NEWS LETTER KUMAMOTO

2017.Spring Vol. 112

■発行:一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団
〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館
■Publisher: Kumamoto International Foundation
4-18 hanabata-cho, chuouku, kumamoto city, 860-0806
TEL:096-359-2121/ FAX:096-359-5783
e-mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp URL:http://www.kumamoto-if.or.jp/



熊本地震を振り返って

今まで聞いたことのない凄まじい地鳴りの音と共に経験したことのない激しい揺れが襲い、普段の生活が一変した熊本地震から早1年が経ちました。

平成28年4月14日(木)21時26分、熊本地方を震源とするマグニチュード6.5、益城町で最大震度7(熊本市は震度6弱)の地震。当時熊本市国際交流会館は、1団体が利用中でした。利用者の安否確認、会館設備等の点検を行い、会館周辺は停電することもなく午後10時に一旦閉館しました。

その後、日付が変わった4月15日(金)午前1時、熊本市の要請で、一時避難所(外国人避難対応施設)を開設しました。すぐに、韓国人3人と日本人1人の計4名が避難し、余震はかなりの頻度でおりましたが、午後には避難者も全て退出され、午後10時で避難所を閉鎖しました。

余震が続く中の4月16日(土)午前1時25分、今度は熊本地方を震源にマグニチュード7.3、益城町・西原村で最大震度7(熊本市は震度6強)の激しい揺れが襲いました。

午前4時に熊本市の要請で再度避難所として開設し夜が明けて朝になると多くの市民の方々や、外国人旅行者・在熊外国人などが避難されてきました。

国際交流会館は当初指定避難所ではなかったため、熊本市からの救援物資の配給がなく、食料や毛布など物資が不足しました。そのような中、外国人の人権・生活支援

を行っているコムスタカ~外国人と共に生きる会~に炊き出しの協力を4月30日の避難所閉鎖までご協力をいただき温かい食事を提供できました。



災害多言語支援センターの立ち上げと避難所巡回

4月20日(水)からは多文化共生マナージャー全国協議会、九州ブロックの地域国際化協会に応援をいただき、災害多言語支援センターを立ち上げ、国際交流会館外の外国人被害者の安否確認と多言語情報の発信をスタートしました。

初期の段階では避難所も大変混乱しており、電話での外国人避難状況確認がなかなかできなかった為、直接いくつかの避難所を巡回しました。

巡回を行う中で予想外だったのが、外国人の少なさでした。原因としては、避難所の存在を知らなかったり、とりあえず避難所へ行ったものの避難所では様々な案内やルールなどの表示が日本語のみで行われていた為、普段生活していく上で日常会話には問題ない外国人にもなかなか目に触れることのない「給水」や「物資」など、災害時にしか使われない言葉が多くあり、状況を理解するには大変難しく、どうしたらいいのかわからず、多く

《特集》熊本地震1年の振り返り・・・P1~P2
多文化共生セミナー・外国人防災訓練報告・・・P3
国際交流基金 地球市民賞受賞報告・・・P4
いわせてはいよ!
《熊本地区中国留学生学友会》・・・P5

目次 Contents

学生ボランティア
フォーラムの報告・・・P6
世界を知る
~It know the world~・・・P7
ちょっと日本語/きふプロ
平成29年度賛助会員・・・P8